

正誤表 (Ver.2.0→Ver.2.1対応)

注 赤字はマニュアル中の数値や文章そのものの修正箇所、青字は内容の修正方法について示す

ページ (修正後)	位置など	誤	正
4	4 大豆作での農業用 ドローンの利用方法 (2)	(2) 雑草防除	(2) 土壌処理除草剤
4	4 大豆作での農業用 ドローンの利用方法 (3)	(3) 病害虫防除	(3) 病害虫防除・抑制技術
7	説明文 (追加)	本県で主に使われている農業用ドローンを表1-1にまとめます。	本県で主に使われている農業用ドローンを表1-1にまとめます。本マニュアルの内容は、これらのドローンを元に作成しています。
8	図2-1	-	○「飛行実施」の下に「散布時」の表記を追加
13～	表記について	-	○資材を農業用ドローンに積み込むことの表記について「(散布前) 充填」と「(散布中) 補充」に統一
16	散布時間 (図3-7, 8) 説明文	なお, 自動飛行 (A-Bルート作業モード) を利用する場合は散布前に飛行経路設定のために長辺方向に飛行する必要があり, 長辺100mの水田で1.8分を要します。	なお, 自動飛行 (A-Bルート作業モード) を利用する場合は散布前に飛行経路設定のために長辺方向に飛行する必要があり, 長辺100mの水田で1.8分/haを要します。
16	図3-7 注釈	2「豆つぶ剤」の手散布及びフロアブル剤の手散布は図12と同様。	2「豆つぶ剤」の手散布はひしゃく (図3-5) による畦畔からの投込み散布を作業員3名それぞれが行った平均値。 3フロアブル剤の手散布は畦畔と水田内で作業員1名が行った値。
17～	参考となる試験結果 バッテリー消費率に ついての表 注釈 (全ての作業項目)	—	バッテリー消費率について、「気温や風速の条件により増減する場合がある。」という注釈を追加
17	表3-2 バッテリー交換までの 散布面積	往復散布: 4 ha 片道散布: 4 ha	往復散布: 3.5ha 片道散布: 3.9ha
18	表3-3 注1、 図3-10、図3-11 説明文	散布後53日	移植後53日

20	散布時間（図3-14, 15） 上の説明文	「FG剤」を散布した際の散布時間は、センメツZ200FG（散布重量200g/10a）で0.4分	「FG剤」を散布した際の散布時間は、センメツZ200FG（散布重量200g/10a）で0.4分/ha
20	結果の説明文	注2 バサグラン・エアー（1キロ粒剤）は、3-8（p23）の条件で、全面散布（図3-21, p24を参照）を行った。	注2 バサグラン・エアー（1キロ粒剤）は、3-8（p24）の条件で、全面散布（図3-21, p24を参照）を行った。
23	説明文（5段落目）	p24で使用したバサグラン・エアーでは、飛行速度15km/h、散布幅6.0m、現物の散布量1kg/10aの条件で散布する条件だと、シャッター開度9.5%で目標とする散布量（1kg/10a）となりました（図3-20）。	p24で使用したバサグラン・エアーでは、飛行速度15km/h、散布幅6.0m、現物の散布量1kg/10aの条件で散布する条件だと、シャッター開度9.5%で目標とする散布量（1kg/10a）となりました（図3-20）。ただし、散布時は設定時より吐出量が増減する場合があります。そのため、初めて使用する資材では、設定値を目安として実際に飛行しながら吐出量を確認し、微調整してください。
25～	参考となる試験結果の項目名について	散布時間（図〇－〇）	作業時間（図〇－〇）
25～	作業時間のグラフについて	—	〇積み上げグラフの作業項目を下から作業順になるように修正
25	図3-22 散布時間	バサグランエアー：9.9分	バサグランエアー：10.7分
26	1) 流量キャリブレーションの説明文	Agras T10, T25, T50 やT10K, T25Kなどでは、粒剤や肥料を散布するためのテンプレートが使用できます。これは粒剤や肥料について、決まった重量を面積当たりで散布するために、速度に連動してシャッター開度を自動で調節する機能です。	Agras T10, T25, T50 やT10K, T25Kなどでは、粒剤や肥料を散布するためのテンプレートが使用できます。これは粒剤や肥料を設定した重量で散布するために、速度に連動してシャッター開度を自動で調節する機能です。
26	—	粒剤や肥料を散布する場合の流量キャリブレーションの方法	粒剤や肥料を散布する場合のテンプレートの作製方法
27～	各作業で資材補充が必要となる面積を示す表について（例、p27表3-11の上にある説明文）	基肥にてまいらず津軽（窒素含有率15%）を使用した場合の散布量と、Agras T25, T25K, Agras T50を使用した場合に一度の補充で散布可能な面積を表3-11に示します。	てまいらず津軽を使用した場合の散布量と、Agras T25, T25K, Agras T50を使用した場合に一度の補充で散布可能な面積を表3-11に示します。
28	作業時間（図3-24） 説明文	表3-10の条件で、Agras T25, Agras T50での散布に係る作業時間は、ほ場面積10aではT25が6.3分、尿素が4.6分となり、散布面積1haでは、T25が62.2分、T50が37.8分となりました。	表3-10の条件で、Agras T25, Agras T50での散布に係る作業時間は、ほ場面積10aではT25が6.3分、T50が4.6分となり、散布面積1haでは、T25が62.2分、T50が37.8分となりました。
28	図3-24 作業時間	Agras T25・ほ場面積10a：6.2（分/10a） Agras T50・ほ場面積10a：4.2（分/10a） Agras T25・ほ場面積1ha：62.5（分/ha）	Agras T25・ほ場面積10a：6.3（分/10a） Agras T50・ほ場面積10a：4.6（分/10a） Agras T25・ほ場面積1ha：62.2（分/ha）

30	作業時間（図3-25） 説明文	表3-13の条件での散布に係る作業時間は、ほ場面積10aでは、Agras T25の場合、硫安が2.0分、尿素が2.6分、Agras T50の場合、硫安が2.8分、尿素が3.5分となりました。	表3-13の条件での散布に係る作業時間は、ほ場面積10aでは、Agras T25の場合、硫安が2.3分、尿素が2.6分、Agras T50の場合、硫安が2.8分、尿素が3.5分となりました。
30	図3-25 作業時間	Agras T25・尿素・ほ場面積1ha： 16.2（分/ha）	Agras T25・尿素・ほ場面積1ha： 16.1（分/ha）
30	バッテリー消費率、実散布量など（表3-15） AgrasT25 尿素散布 についての説明文	尿素の散布では、10a当たりのバッテリー消費率は9.6%で、バッテリー交換の目安は112a、散布量は2.0Nkg/10aの設定に対し、1.8Nkg/10aとなりました。	尿素の散布では、10a当たりのバッテリー消費率は6.2%で、バッテリー交換の目安は112a、散布量は2.0Nkg/10aの設定に対し、1.8Nkg/10aとなりました。
31	1) 流量キャリブレーション 説明文	Agras T10, T25, T50やT10K, T25Kなどでは、液剤を散布する際に速度に連動して、散布量を自動で調節する機能があります。この機能を使用するために、流量計のキャリブレーションを行います。液剤の流量キャリブレーションについては、水で希釈する液剤であれば、水で流量キャリブレーションを一度行くと他の水で希釈する液剤でも同様の設定で利用できます。 ただし、①異なる粘度の液剤（フロアブル剤など）を使用する場合、②送信機で確認できる実際の散布量と面積から計算した散布量が15%以上異なる場合には、再度散布したい液剤で流量キャリブレーションを行ってください。	Agras T10, T25, T50やT10K, T25Kなどでは、液剤を散布する際に速度に連動して、散布量を自動で調節する機能があります。この機能を使用するために、流量計のキャリブレーションを行います。 ただし、①異なる粘度の液剤（フロアブル剤など）を使用する場合、②送信機で確認できる実際の散布量と面積から計算した散布量が15%以上異なる場合には、再度流量キャリブレーションを行ってください。
31	2) 散布時のドローンの設定 説明文	・（前略）液滴サイズについてはAgras T25, Agras T50, T25Kで使用可能な機能です。190μmを基本とし、散布した際に噴霧液滴のサイズを確認して調整してください。 ・ 散布（噴霧）量0.8L/10aの場合について、機体ごとに一度の補充で散布可能な面積を表3-11に示します。	・（前略）液滴サイズはAgras T25, T25K, AgrasT50で使用可能な機能です。50～500μmの間で設定でき、サイズが大きいくほどドリフトしにくくなる一方、薬剤が付着しにくくなります。弊所ではドリフトと付着性のバランスを考慮し、190μmに設定して試験しました。この設定でもドリフトする場合はサイズをより大きくするなど、散布時の状況に合わせて調整してください。 ・ 散布（噴霧）量0.8L/10aの場合について、機体ごとに一度の補充で散布可能な面積を表3-17に示します。
31	表3-17	Agras T50 液剤タンク容量：50L 一度の補充で散布可能な面積：625a	Agras T50 液剤タンク容量：40L 一度の補充で散布可能な面積：500a

33	作業時間（図3-28） 説明文	表3-16の条件による農業用ドローンでの散布に係る作業時間について、ほ場面積10aではAgras T10が2.8分, Agras T25が2.0分, Agras T30が2.0分となりました。	表3-16の条件による農業用ドローンでの散布に係る作業時間について、ほ場面積10aではAgras T10が2.8分, Agras T25が2.1分, Agras T30が2.2分となりました。
33	バッテリー消費率と実 散布量（表3-18） 説明文（追加）	—	散布（噴霧）量は設定どおりとなりました。
33	表3-18 バッテリー交換までの 面積	—	○他の作業項目と統一するために、整数に修正
36	1) 散布時のシャッター開度の設定について 説明文	粒剤や肥料を散布するために流量キャリブレーションを行います（p26）。しかし、資材の比重や粒径により、流量キャリブレーションができない場合があります（p36で使用するワラ分解キングなど）。その際は、シャッター開度を固定して、散布する必要があります。確認方法は1キロ粒剤と同様になるため、p23をご確認ください。 p36で使用するワラ分解キングでは、飛行速度15km/h, 散布幅6.0m, 現物の散布量10kg/10aの条件で散布する条件だと、シャッター開度20%で目標とする散布量（10kg/10a）となりました（図3-30）。	粒剤や肥料を散布するために流量キャリブレーションを行います（p26）。しかし、資材の比重や粒径により、流量キャリブレーションができない場合があります（後述するワラ分解キングなど）。その際は、シャッター開度を固定して、散布する必要があります。確認方法は1キロ粒剤と同様になるため、p23をご確認ください。 ワラ分解キングでは、飛行速度15km/h, 散布幅6.0m, シャッター開度18%で目標とする散布量（10kg/10a）となりました（図3-30）。ただし、散布時は設定時より吐出量が増減する場合があります。そのため、初めて使用する資材では、設定値を目安として実際に飛行しながら吐出量を確認し、微調整してください。
36	2) 散布時のドローンの設定 説明文（追加）	—	（前略）設定時のシャッター開度の目安は18%でしたが、後述する試験においてシャッター開度20%に設定した方が目標とする散布量に近い結果となりました。
37	散布時間（図3-31） 説明文	表3-22の条件によるAgras T25とAgras T50での稲わら分解資材散布に係る作業時間は、ほ場面積10aではAgras T25が2.2分, Agras T50が1.9分となりほぼ同程度でした。	表3-22の条件によるAgras T25とAgras T50での稲わら分解資材散布に係る作業時間は、ほ場面積10aではAgras T25が2.2分, Agras T50が2.2分となり同等でした。
37	バッテリー消費率, 実 散布量など（表3-24） 説明文	Agras T50による散布では、10a当たりのバッテリー消費率は9.8%/10a, バッテリー交換の目安は71a, 散布量は10.0kg/10aの設定に対し10.0kg/10aとなりました	Agras T50による散布では、10a当たりのバッテリー消費率は9.8%/10a, バッテリー交換の目安は71a, 散布量は、シャッター開度18%の場合、10.0kg/10aの設定に対し7.9kg/10aとなり、シャッター開度20%の場合、10.0kg/10aとなり、シャッター開度20%で散布した方が設定値に近い結果となりました。

37	表3-24	—	○AgrasT50について、シャッター開度18%で散布した試験結果を追加
39	表4-3 バッテリー交換までの面積	—	○他の作業項目と統一するために、整数に修正
41	バッテリー消費率と実散布量（表4-5） 説明文	Agras T25, T25Kにおいて、シャッター開度を速度連動にした場合の10a当たりバッテリーの消費率は10.9%で、バッテリー交換までの散布面積は64a 散布量は3.0kg/10aの設定に対し、5.6kg/10aとなりました。	Agras T25, T25Kにおいて、シャッター開度を速度連動にした場合の10a当たりバッテリーの消費率は10.9%で、バッテリー交換までの散布面積は64a, 散布量は6.0kg/10aの設定に対し、5.6kg/10aとなりました。
41	表4-5 バッテリー交換までの面積	—	○他の作業項目と統一するために、整数に修正
42	タイトル	（3）病虫害防除	（3）病虫害防除・抑制技術
42	2)機体設定 説明文	・（前略）液滴サイズについてはAgras T25, Agras T50, T25Kで使用可能な機能です。190μmを基本とし、散布した際に噴霧液滴のサイズを確認して調整してください。	・（前略）液滴サイズはAgras T25, T25K, AgrasT50で使用可能な機能です。50～500μmの間で設定でき、サイズが大きいほどドリフトしにくくなる一方、薬剤が付着しにくくなります。弊所ではドリフトと付着性のバランスを考慮し、190μmに設定して試験しました。この設定でもドリフトする場合はサイズをより大きくするなど、散布時の状況に合わせて調整してください。
43	散布量0.8L/10aの場合の作業時間（図4-6） 説明文	Agras T10, T25, T50でプレバゾンフロアブルを0.8L/10aの散布量で散布した場合の作業時間は、Agras T25, T30, T50では2.0～2.2分/10aで、散布幅が5.0mのAgras T10では2.6分/10aでした。	Agras T10, T25, T50でプレバソンフロアブル5を0.8L/10aの散布量で散布した場合の作業時間は、Agras T25, T50では2.0～2.2分/10aで、散布幅が5.0mのAgras T10では2.6分/10aでした。
43	表4-8 上の説明文	散布（噴霧量）量0.8L/10aの場合の機体ごとの液剤の補充が必要となる面積を表4-8に示します。	機体ごとの液剤の補充が必要となる面積を表4-8に示します。
43	図4-6	プレバゾンフロアブル	プレバソンフロアブル 5
44	散布量1.6L/10aの場合の作業時間（図4-7） 説明文	表4-7の条件により、Agras T10, T25, T50でサンカラーを1.6L/10aの散布量で散布した場合、ほ場面積10aの作業時間は、散布幅が同じ7.5mのAgras T25, T50では2.2分/10aで、散布幅が5.0mのAgras T10では2.6分/10aでした。ほ場面積60aで散布した場合の作業時間は、Agras T25, T50では5.2～5.3分/10aでした。Agras T10はタンク容量が小さいため、50a以上を散布すると散布中の補充が必要となり、散布幅が5.0mと短いため9.5分/10aでした。	表4-7の条件により、Agras T10, T25, T30, T50でサンカラーを1.6L/10aの散布量で散布した場合、ほ場面積10aの作業時間は、散布幅が同じ7.5mのAgras T25, T30, T50では2.1～2.2分/10aで、散布幅が5.0mのAgras T10では2.6分/10aでした。ほ場面積60aで散布した場合の作業時間は、Agras T25, T30, T50では5.1～5.3分/10aでした。Agras T10はタンク容量が小さいため、50a以上を散布すると散布中の補充が必要となり、散布幅が5.0mと短いため9.5分/10aでした。

44	バッテリー消費率と実散布量（表4-9） 説明文	・ 10a当たりのバッテリー消費量はAgras T10が14.1%で、バッテリー交換までの散布の目安は49a、Agras T25は4.1%で170a、Agras T30は6.0%で116aとなります。 ・ 散布（噴霧）量はいずれも設定どおりとなりました。	・ 10a当たりのバッテリー消費量はAgras T10が14.1%で、バッテリー交換までの散布の目安は49a、Agras T25、T30は4.1%で170a、Agras T50は5.4%で120aとなります。 ・ 散布（噴霧）量は0.8L/10a、1.6L/10aいずれも設定どおりとなりました。
46	作業時間（図5-2） 説明文	表5-1の条件によるAgras T25とAgras T50での追肥に係る作業時間は、ほ場面積10aではAgras T25が1.5分、Agras T50が2.5分となり同等でした。	表5-1の条件によるAgras T25とAgras T50での追肥に係る作業時間は、ほ場面積10aではAgras T25が2.5分、Agras T50が2.5分となり同等でした。
42	2)機体設定 説明文	・（前略）液滴サイズについてはAgras T25、Agras T50、T25Kで使用可能な機能です。190μmを基本とし、散布した際に噴霧液滴のサイズを確認して調整してください。	・（前略）液滴サイズはAgras T25、T25K、Agras T50で使用可能な機能です。50～500μmの間で設定でき、サイズが大きいほどドリフトしにくくなる一方、薬剤が付着しにくくなります。弊所ではドリフトと付着性のバランスを考慮し、190μmに設定して試験しました。この設定でもドリフトする場合はサイズをより大きくするなど、散布時の状況に合わせて調整してください。
47	2) 機体設定 説明文（追加）	—	○T10K、T25Kについて文中に記載がなかったため追加
47	表5-5	Agras T50 液剤タンク容量：50L 一度の補充で散布可能な面積：625a	Agras T50 液剤タンク容量：40L 一度の補充で散布可能な面積：500a
48	図5-5 作業時間	・ Agras T25・トップジンMゾル・ほ場面積1ha：7.4（分/ha）	・ Agras T25・トップジンMゾル・ほ場面積1ha：6.9（分/ha） ○対照のブームスプレーヤーの項目を右端に移動
48	表5-6 バッテリー交換までの面積	—	○他の作業項目と統一するために、整数に修正
48	表5-6 注釈（追加）	—	3 散布日は、チルト乳剤が11月25日、トップジンMゾルが6月9日。
49、50、55	表記について	・ 作業委託料金 ・ 原価償却	・ 作業請負料金 に統一 ・ 減価償却 に修正
51	最大作業可能面積についての説明文	Agras T10の最大作業可能面積は、一発処理除草剤（自己拡散型）の散布が308.0ha/年、中後期除草剤（1キロ除草剤）の散布が57.8ha/年、穂いもち防除が58.5ha/年、カメムシ類防除が61.3ha/年の試算となりました。	Agras T10の最大作業可能面積は、一発処理除草剤（自己拡散型）の散布が308.0ha/年、中後期除草剤（1キロ除草剤）の散布が57.8ha/年、穂いもち防除が52.5ha/年、カメムシ類防除が61.3ha/年の試算となりました。

52	図6-4 最大作業可能面積	中後期除草剤：60.8ha	中後期除草剤：64.2ha
52	図6-5 最大作業可能面積	中後期除草剤：60.8ha	中後期除草剤：64.2ha
53	表6-1	本文書のp 8, 9を参照	
54	表6-2	本文書のp10, 11を参照	
58	表6-3	本文書のp12, 13を参照	
59	表6-4	本文書のp14, 15を参照	
その他		・作業項目間で共通した内容について記載されている箇所のタイトル名を全て統一 ・作業項目間で内容が重複しているものについて、基本的に最初に出てきたページのみ詳細に説明し、以降は該当するページを参照するように修正 ・細かい表記揺れやフォント、文字サイズ等を論調が変わらない範囲で修正	

○正誤表（表 6-1、6-2、6-3、6-4）

・表 6-1

誤（赤字が修正箇所）

対象機種		Agras T10				Agras T25				
大きさ、能力		液剤タンク 粒剤タンク				液剤タンク 粒剤タンク				
		Agras T10				Agras T25				
		搭載量 8 L 搭載量10kg				搭載量20 L 搭載量25kg				
		粒剤散布		液剤散布		粒剤散布		液剤散布		
作業名		初中期一発 処理除草剤 (自己拡散型)	中後期 除草剤	穂いもち防 除	カメムシ類防 除	初中期一発 処理除草剤 (自己拡散型)	中後期 除草剤	追肥	穂いもち 防除	カメムシ類 防除
供試資材		豆つぶ剤	バサグラン ・エアー	ラブサイド フロアブル	スタークル メイト液剤10	F G 剤	バサグラン ・エアー	硫安 (窒素含有 21%)	ラブサイド フロアブル	スタークル メイト 液剤10
散布量		250g/10a	1.0kg/10a	0.8L/10a	0.8L/10a	200g/10a	1.0kg/10a	2.0Nkg/10a	0.8L/10a	0.8L/10a
最大作 業可 能面 積	作業能率	h/ha	0.05	0.20	0.22	0.22	0.03	0.19	0.26	0.12
	作業回数	回	1	1	1	2	1	1	1	2
	作業時間	h/ha	0.05	0.20	0.22	0.44	0.03	0.19	0.26	0.12
	作業時間合計	h/ha	0.05	0.20	0.22	0.44	0.03	0.19	0.26	0.12
	作業期間（始）	月 日	6月1日	6月28日	7月31日	8月6日	6月1日	6月28日	7月10日	7月31日
	作業期間（終）	月 日	6月7日	7月2日	8月5日	8月19日	6月7日	7月2日	7月15日	8月5日
	作業可能日数率	%	62	64	65	56	62	64	60	65
	作業可能日数	日	4	3	3	7	4	3	3	7
	作業可能時間	h	15	12	12	27	15	12	12	27
	最大作業可能面積（①）	ha	308.0	57.8	52.5	61.3	513.3	60.8	44.4	96.3
損益 分岐 点面 積	固定費	千円	2,091				3,603			
	固定比率	%	29.0				29.0			
	保障、点検料など 計	千円	30				30			
	変動費	千円	636				1,075			
	バッテリー充電単価	円/kwh	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0
	バッテリー使用量	kwh/ha	0.07	0.31	0.43	0.43	0.12	1.19	1.21	0.69
	バッテリー使用費	円/ha	2	10	13	13	4	37	38	21
	労賃	円/h	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228
	小計	円/ha	297	1,191	1,315	2,607	183	1,182	1,594	743
	合計	円/ha	5,411				5,150			
備 考	作業請負 料金	円/ha	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240
	合計	円/ha	68,960				86,200			
	損益分岐点面積（②）	ha	10.0				13.3			
	①-②	ha	298.0	47.7	42.5	51.2	500.1	47.5	31.2	83.0
	1	初中期一発処理除草剤（自己拡散型製剤）の散布幅は、一辺100m 圃場を 1 行程のみ散布する想定とした（令和 6 年度農林総合研究所試験成績概要集、令和 7 年）（表 6-2 同様）。								
	2	粒剤散布の作業期間は、初中期一発処理除草剤は田植の進捗終わりの平年値（田植進ちょく状況（6 月 5 日現在）、青森県「農林水産力」強化本部、令和 7 年）の 3 日後から 7 日間とした。中後期除草剤は落水状態で処理する剤を想定し、中干し期間の開始日（出穂の進捗の最盛期（8 月 5 日現在）水稲出穂状況、青森県「農林水産力」強化本部、令和 7 年）の平年値34日前）の前後 2 日とした。追肥は出穂の進捗の最盛期の平年値25～20日前（8 月 5 日現在）水稲出穂状況、青森県「農林水産力」強化本部、令和 7 年）とした。稲わら分解資材は稲刈の進捗の終わりの平年値（稲刈進ちょく状況（1 0 月 1 0 日現在）、青森県「農林水産力」強化本部、令和 7 年）の翌日から 7 日間とした（表 6-2 同様）。								
	3	液剤散布の作業期間は、穂いもち防除は出穂の進捗の始め（8 月 5 日現在）水稲出穂状況、青森県「農林水産力」強化本部、令和 7 年）からカメムシ類防除開始日前までとした。カメムシ類防除は出穂の進捗の最盛期を起算日とし、稲作改善指導要領（青森県、令和 6 年）に従った（表 6-2 同様）。								
	4	Agras T10での追肥は散布中の補充回数が非常に多くなり現実的な作業効率でないため、評価項目から除外した。								
	5	作業可能日数率は作業期間において、2016から2025年までの青森、弘前、八戸、五所川原、十和田、むつアメダスより降水量10mm以上もしくは平均風速3.0m/s以上を作業不可日として算出し、年平均に換算した（表 6-2 同様）。								
	6	本体一式は液剤装置付きドローン本体 1 台、充電器 1 台、バッテリー 6 個、粒剤散布装置 1 台を購入したものとした（表 6-2 同様）。								
	7	ドローンの耐用年数は 5 年とし、年間固定比率の内訳は原価償却費 20%、修理費 5%、資本金利 4% で試算した（表 6-2 同様）。								
	8	バッテリー充電単価はバッテリー容量から電気料金の単価を 31 円/kwh（全国家庭電気製品公正取引協議会の目安単価より）として試算した（表 6-2 同様）。								
	9	労賃は「令和 6 年農作業料金・農業労賃に関する調査結果((一社)青森県農業会議)」よりオペレータ(トラクター、田植機、コンバインの平均値)の日賃金を時給換算し、青森県最低賃金（令和 7 年 12 月現在）を補助者の時給とし、オペレータ(時給 1,170 円)×1 人+補助者(時給1,029 円)×2 人=3,228 円/時となり、それを作業能率から 1 ha 当たり換算した（表 6-2 同様）。								
	10	作業請負料金は「令和 6 年農作業料金・農業労賃に関する調査結果((一社)青森県農業会議)」の防除(個人)の県平均賃金を参照した（表 6-2 同様）。								

正（表 6-1）

対象機種		Agras T10				Agras T25				
大きさ、能力		液剤タンク 粒剤タンク				搭載量20L 搭載量20kg				
		粒剤散布		液剤散布		粒剤散布		液剤散布		
作業名		初中期一発 処理除草剤 (自己拡散型)	中後期 除草剤	穂いもち防除	カメムシ類防除	初中期一発 処理除草剤 (自己拡散型)	中後期 除草剤	追肥	穂いもち 防除	カメムシ類 防除
供試資材		豆つぶ剤	バサグラン ・エアー	ラプサイド フロアブル	スタークル メイト液剤10	FG剤	バサグラン ・エアー	硫安 (窒素含有 21%)	ラプサイド フロアブル	スタークル メイト 液剤10
散布量		250g/10a	1.0kg/10a	0.8L/10a	0.8L/10a	200g/10a	1.0kg/10a	2.0Nkg/10a	0.8L/10a	0.8L/10a
最大作業 可能面積	作業能率	h/ha	0.05	0.20	0.22	0.03	0.18	0.26	0.12	0.12
	作業回数	回	1	1	1	1	1	1	1	2
	作業時間	h/ha	0.05	0.20	0.22	0.03	0.18	0.26	0.12	0.24
	作業時間合計	h/ha	0.05	0.20	0.22	0.03	0.18	0.26	0.12	0.24
	作業期間(始)	月日	6月1日	6月28日	7月31日	6月1日	6月28日	7月10日	7月31日	8月6日
	作業期間(終)	月日	6月7日	7月2日	8月5日	6月7日	7月2日	7月15日	8月5日	8月19日
	作業可能日数率	%	62	64	65	62	64	60	65	56
	作業可能日数	日	4	3	3	4	3	3	3	7
	作業可能時間	h	15	12	12	15	12	12	12	27
	最大作業可能面積(①)	ha	308.0	57.8	52.5	61.3	513.3	64.2	44.4	96.3
損益分岐 点面積	固定費	千円	2,091				3,603			
	固定比率	%	29.0				29.0			
	保障、点検料など	千円	30				30			
	計	千円	636				1,075			
	変動費	円/kwh	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0
	バッテリー使用量	kwh/ha	0.07	0.31	0.43	0.43	0.12	1.19	1.21	0.69
	バッテリー使用費	円/ha	2	10	13	13	4	37	38	21
	労賃	円/h	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228
	小計	円/ha	297	1,191	1,315	2,607	183	1,124	1,594	743
	合計	円/ha	5,411				5,091			
備考	作業請負 料金	円/ha	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240
	合計	円/ha	68,960				86,200			
	損益分岐点面積(②)	ha	10.0				13.3			
	①-②	ha	298.0	47.8	42.5	51.3	500.0	50.9	31.1	83.0
	1	初中期一発処理除草剤(自己拡散型製剤)の散布幅は、一辺100m圃場を1行程のみ散布する想定とした(令和6年度農林総合研究所試験成績概要集、令和7年)(表6-2同様)。								
	2	粒剤散布の作業期間は、初中期一発処理除草剤は田植の進度終わりの平年値(田植進ちょく状況(6月5日現在)、青森県「農林水産力」強化本部、令和7年)の3日後から7日間とした。中後期除草剤は落水状態で処理する剤を想定し、中干し期間の開始日(出穂の進度の最盛期(8月5日現在)水稻出穂状況、青森県「農林水産力」強化本部、令和7年)の平年値(34日前)の前後2日とした。追肥は出穂の進度の最盛期の平年値25~20日前(8月5日現在)水稻出穂状況、青森県「農林水産力」強化本部、令和7年)とした。稲わら分解資材は稲刈の進度の終わり平年値(稲刈進ちょく状況(10月10日現在)、青森県「農林水産力」強化本部、令和7年)の翌日から7日間とした(表6-2同様)。								
	3	液剤散布の作業期間は、穂いもち防除は出穂の進度の始め(8月5日現在)水稻出穂状況、青森県「農林水産力」強化本部、令和7年)からカメムシ類防除開始日前までとした。カメムシ類防除は出穂の進度の最盛期を起算日とし、稲作改善指導要領(青森県、令和6年)に従った(表6-2同様)。								
	4	AgrasT10での追肥は散布中の補充回数が非常に多くなり現実的な作業効率でないため、評価項目から除外した。								
	5	作業可能日数率は作業期間において、2016年から2025年までの青森、弘前、八戸、五所川原、十和田、むつアメダスより降水量10mm以上もしくは平均風速3.0m/s以上を作業不可日として算出し、年平均に換算した(表6-2同様)。								
	6	本体一式は液剤装置付きドローン本体1台、充電器1台、バッテリー6個、粒剤散布装置1台を購入したものとした(表6-2同様)。								
	7	ドローンの耐用年数は5年とし、年間固定比率の内訳は原価償却費 20%、修理費5%、資本金子4%で試算した(表6-2同様)。								
	8	バッテリー充電単価はバッテリー容量から電気料金の単価を 31 円/kwh(全国家庭電気製品公正取引協議会の目安単価より)として試算した(表6-2同様)。								
	9	バッテリー消費量は、ほ場面積10a(縦100m×横10m)あたりのバッテリー消費率を用いて試算した(表6-2同様)。								
	10	労賃は「令和6年農作業料金・農業労賃に関する調査結果((一社)青森県農業会議)」よりオペレータ(トラクター、田植機、コンバインの平均値)の日賃金を時給換算し、青森県最低賃金(令和7年 12 月現在)を補助者の時給とし、オペレータ(時給 1,170 円)×1人+補助者(時給 1,029 円)×2人=3,228 円/時となり、それを作業能率から1ha 当たりに換算した(表6-2同様)。								
	11	作業請負料金は「令和6年農作業料金・農業労賃に関する調査結果((一社)青森県農業会議)」の防除(個人)の県平均賃金を参照した(表6-2同様)。								

説明

- ・ AgrasT25 の粒剤タンク搭載量が誤っていたため修正
- ・ 中後期剤（バサグラン・エアー）の作業時間を修正
→それに伴い、作業時間を参照していた最大作業可能面積、変動費の小計および合計の数値も変化
- ・ ①-②について、表示されていない小数点第2位以下の数値を含む計算結果となっていたため、表示されているとおりの数値同士の計算結果になるよう修正
- ・ 備考に「9 バッテリー消費量は、ほ場面積 10a（縦 100m×横 10m）あたりのバッテリー消費率を用いて試算した（表 6 - 2 同様）。」という文章を追加

・表 6-2

誤

対象機種			Agras T50				
大きさ、能力			液剤タンク 粒剤タンク				
			粒剤散布			液剤散布	
作業名			初中期一発 処理除草剤 (自己拡散型)	中後期 除草剤	追肥	穂いもち 防除	カメムシ類 防除
供試資材			FG剤	バサグラン ・エアー	硫安 (窒素含有 21%)	ラブサイド フロアブル	スタークル メイト 液剤10
散布量			200g/10a	1.0kg/10a	2.0Nkg/10a	0.8L/10a	0.8L/10a
最大作業 可能面積	作業能率	h/ha	0.03	0.19	0.24	0.13	0.13
	作業回数	回	1	1	1	1	2
	作業時間	h/ha	0.03	0.19	0.24	0.13	0.26
	作業時間合計	h/ha	0.03	0.19	0.24	0.13	0.26
	作業期間(始)	月日	6月1日	6月28日	7月10日	7月31日	8月6日
	作業期間(終)	月日	6月7日	7月2日	7月15日	8月5日	8月19日
	作業可能日数率	%	62	64	60	65	56
	作業可能日数	日	4	3	3	3	7
	作業可能時間	h	15	12	12	12	27
	最大作業可能面積(①)	ha	513.3	60.8	48.1	88.8	103.7
損益分岐 点面積	固定費	本体一式	千円	4,055			
		固定比率	%	29.0			
		保障、点検料など	千円	30			
		計	千円	1,206			
	変動費	バッテリー充電単価	円/kwh	31.0	31.0	31.0	31.0
		バッテリー使用量	kwh/ha	0.12	1.19	1.77	0.80
		バッテリー使用費	円/ha	4	37	55	25
		労賃	円/h	3,228	3,228	3,228	3,228
		小計	円/ha	183	1,182	1,508	1,571
		合計	円/ha	5,253			
作業請負 料金	各作業別	円/ha	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240
	合計	円/ha	86,200				
	損益分岐点面積(②)	ha	14.9				
①-②			ha	498.4	45.9	33.2	73.9
							88.8

正 (表 6-2)

対象機種			Agras T50					
大きさ、能力			液剤タンク 粒剤タンク					
			粒剤散布			液剤散布		
作業名			初中期一発 処理除草剤 (自己拡散型)	中後期 除草剤	追肥	穂いもち 防除	カメムシ類 防除	
供試資材			FG剤	バサグラン ・エアー	硫安 (窒素含有 21%)	ラブサイド フロアブル	スタークル メイト 液剤10	
散布量			200g/10a	1.0kg/10a	2.0Nkg/10a	0.8L/10a	0.8L/10a	
最大 作業 可能 面積	作業能率	h/ha	0.03	0.18	0.24	0.13	0.13	
	作業回数	回	1	1	1	1	2	
	作業時間	h/ha	0.03	0.18	0.24	0.13	0.26	
	作業時間合計	h/ha	0.03	0.18	0.24	0.13	0.26	
	作業期間(始)	月日	6月1日	6月28日	7月10日	7月31日	8月6日	
	作業期間(終)	月日	6月7日	7月2日	7月15日	8月5日	8月19日	
	作業可能日数率	%	62	64	60	65	56	
	作業可能日数	日	4	3	3	3	7	
	作業可能時間	h	15	12	12	12	27	
最大作業可能面積(①)		ha	513.3	64.2	48.1	88.8	103.7	
損益 分岐 点 面積	固定費	本体一式	千円	4,055				
		固定比率	%	29.0				
		保障、点検料など	千円	30				
		計	千円	1,206				
	変動費	バッテリー充電単価	円/kwh	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0
		バッテリー使用量	kwh/ha	0.12	1.17	1.77	0.80	0.80
		バッテリー使用費	円/ha	4	37	55	25	25
		労賃	円/h	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228
		小計	円/ha	183	1,124	1,508	808	1,571
		合計	円/ha	5,194				
	作業請負 料金	各作業別	円/ha	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240
		合計	円/ha	86,200				
損益分岐点面積(②)		ha	14.9					
①-②		ha	498.4	49.3	33.2	73.9	88.8	

説明

- ・中後期剤（バサグラン・エアー）の作業時間を修正
→それに伴い、最大作業可能面積、変動費の小計および合計の数値も変化
- ・①-②について、表示されていない小数点第2位以下の数値を含む計算結果となっていたため、表示されているとおりの数値同士の計算結果になるよう修正

誤

対象機種		Agras T10				Agras T25			
大きさ、能力		液剤タンク 粒剤タンク				液剤タンク 粒剤タンク			
作業		液剤散布				液剤散布			
供試資材		黒根腐病防除	食葉性害虫防除	紫斑病・ 子実吸汁性 カメムシ類防除	マメシクイガ ・子実吸汁性 カメムシ類防除	黒根腐病 防除	食葉性害虫 防除	紫斑病・ 子実吸汁性 カメムシ類防除	マメシクイガ ・子実吸汁性 カメムシ類防除
散布量		サンカラー	アディオン乳剤	ブランドム乳剤25 +キラップフロアブル	プレバゾンフロアブル5 +スタークルメイト液剤10	サンカラー	アディオン乳剤	ブランドム乳剤25 +キラップフロアブル	プレバゾンフロアブル5 +スタークルメイト液剤10
最大作業可能面積	散布量		1.6L/10a	0.8L/10a	0.8L/10a	0.8L/10a	1.6L/10a	0.8L/10a	0.8L/10a
	作業能率	h/ha	0.26	0.21	0.19	0.19	0.13	0.13	0.11
	作業回数	回	1	1	1	1	1	1	1
	作業時間	h/ha	0.26	0.21	0.19	0.19	0.13	0.13	0.11
	作業時間合計	h/ha	0.26	0.21	0.19	0.19	0.13	0.13	0.11
	作業期間(始)	月日	7月10日	7月21日	8月13日	8月25日	7月10日	7月21日	8月13日
	作業期間(終)	月日	7月20日	8月10日	8月24日	9月5日	7月20日	8月10日	8月24日
	作業可能日数率	%	64	62	58	58	64	62	58
	作業可能日数	日	7.0	13.0	7.0	7.0	7.0	13.0	7.0
	作業可能時間	h	27	50	27	27	50	27	27
損益分岐点面積(単作)	最大作業可能面積		ha	103.7	238.3	141.8	141.8	207.3	385.0
	固定費	本体一式	千円	2,091				3,603	
		固定比率	%	29.0				29.0	
		保障、点検料など	千円	30				30	
		計	千円	636				1,075	
	変動費	バッテリー充電単価	円/kwh	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0
		バッテリー使用量	kwh/ha	0.6	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6
		バッテリー使用費	円/ha	19	15	16	16	20	20
		労賃	円/h	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228
		小計	円/ha	1,560	1,260	1,145	1,145	799	796
損益分岐点面積(単作)	合計		円/ha	5,110				2,958	
	作業請負料金		円/ha	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240
	合計		円/ha	68,960				68,960	
	損益分岐点面積(単作)		ha	10.0				16.3	
	①-②		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
備考	③-④		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
	⑤-⑥		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
	⑦-⑧		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
	⑨-⑩		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
	⑪-⑫		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
	⑬-⑭		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
	⑮-⑯		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
	⑰-⑱		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
	⑲-⑳		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0
	㉑-㉒		ha	93.7	228.4	131.9	131.9	197.3	375.0

正（表 6-3）

対象機種		Agras T10				Agras T25													
大きさ、能力		液剤タンク 粒剤タンク				液剤散布													
		搭載量8L 搭載量10kg				搭載量20L 搭載量20kg													
作業		黒根腐病防除		紫斑病・ 子実吸汁性 カメムシ類防除		マメシクイガ ・子実吸汁性 カメムシ類防除		黒根腐病 防除		食葉性害虫 防除		紫斑病・ 子実吸汁性 カメムシ類防除		マメシクイガ ・子実吸汁性 カメムシ類防除					
供試資材		サンカラー		アディオン乳剤		フランドム乳剤25 +キアラップフロアブル		フレバゾンフロアブル5 +スタークルメイト液剤10		サンカラー		アディオン乳剤		フランドム乳剤25 +キアラップフロアブル		フレバゾンフロアブル5 +スタークルメイト液剤10			
散布量		1.6L/10a		0.8L/10a		0.8L/10a		0.8L/10a		1.6L/10a		0.8L/10a		0.8L/10a		0.8L/10a			
最大作業可能面積	作業能率	h/ha	0.26	0.21	0.19	0.19	0.13	0.13	0.13	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11			
	作業回数	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	作業時間	h/ha	0.26	0.21	0.19	0.19	0.13	0.13	0.13	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11			
	作業時間合計	h/ha	0.26	0.21	0.19	0.19	0.13	0.13	0.13	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11			
	作業期間(始)	月日	7月10日	7月21日	8月13日	8月25日	7月10日	7月21日	8月13日	8月25日	7月10日	7月21日	8月13日	8月25日	7月10日	7月21日	8月13日		
	作業期間(終)	月日	7月20日	8月10日	8月24日	9月5日	7月20日	8月10日	8月24日	9月5日	7月20日	8月10日	8月24日	9月5日	7月20日	8月10日	8月24日		
	作業可能日数率	%	64	62	58	58	64	62	58	58	64	62	58	58	64	62	58		
	作業可能日数	日	7.0	13.0	7.0	7.0	7.0	13.0	7.0	7.0	7.0	13.0	7.0	7.0	7.0	13.0	7.0		
	作業可能時間	h	27	50	27	27	27	50	27	27	27	50	27	27	27	50	27		
	最大作業可能面積	ha	103.7	238.3	141.8	141.8	207.3	385.0	245.0	245.0	103.7	238.3	141.8	141.8	207.3	385.0	245.0		
損益分岐点面積(単作)	固定費	本体一式	千円	2,091				3,603				2,091				3,603			
		固定比率	%	29.0				29.0				29.0				29.0			
		保障、点検料など	千円	30				30				30				30			
		計	千円	636				1,075				636				1,075			
	変動費	バッテリー充電単価	円/kwh	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0		
		バッテリー使用量	kwh/ha	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6		
		バッテリー使用費	円/ha	19	15	16	16	16	20	18	20	20	20	20	20	20	20		
		労賃	円/h	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228	3,228		
		小計	円/ha	1,560	1,260	1,145	1,145	1,145	799	796	682	682	682	682	682	682	682		
		合計	円/ha	5,110				2,958				5,110				2,958			
作業請負料金	各作業別	円/ha	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240	17,240			
	合計	円/ha	68,960				68,960				68,960				68,960				
損益分岐点面積(単作)	ha	10.0				16.3				10.0				16.3					
	①-②	ha	93.7	228.3	131.8	131.8	191.0	368.7	228.7	93.7	228.3	131.8	131.8	191.0	368.7	228.7			
備考	1 大豆の作業期間は、黒根腐病防除が大豆作況試験の平年値より6葉期から食葉性害虫防除の作業期間(始)前まで、食葉性害虫防除が令和7年度農作物病害虫防除指針のウコンメイガの項目から引用し、紫斑病・子実吸汁性カメムシ類防除は令和7年度農作物病害虫防除指針の紫斑病の項目から大豆開花期を7月24日として試算し、マメシクイガ・子実吸汁性カメムシ類防除は令和7年度農作物病害虫防除指針のマメシクイガの項目から引用し、8月21日から9月2日まで作業期間が重複するため、各作業項目が同じ作業日数になるようにした(表6-4同様)。																		
	2 基肥の作業期間は大豆の播種作業が6月第1半旬から開始されるとし5月下旬と想定したが、当該時期が水稻移植、小麦作の追肥、赤かび病防除と作業重複するため、経営評価から除外した(表6-4同様)。																		
	3 作業期間は雪腐病防除は令和7年度 農作物病害虫防除指針の雪腐病の項目から、赤かび病防除は令和7年度 農作物病害虫防除指針の紫斑病の項目から小麦作況試験の開花期の平年値をもとに試算した。追肥は1回目を小麦作況試験の消雪日の平年値から幼穂形成期の平年値まで、2回目を止葉抽出期の平年値から出穂期の平年値までとした(表6-4同様)。																		
	4 作業可能日数率は作業期間において、2016から2025年までの青森、弘前、八戸、五所川原、十和田、むつアメダスより降水量10mm以上もしくは平均風速3.0m/s以上を作業不可日として算出し、年平均に換算した(表6-4同様)。																		
	5 本体一式は液剤装置付きドローン本体1台、充電器1台、バッテリー6個、粒剤散布装置1台を購入したものとした(表6-4同様)。																		
	6 ドローンの耐用年数は5年とし、年間固定比率の内訳は原価償却費 20%、修理費5%、資本金子4%で試算した(表6-4同様)。																		
	7 バッテリー充電単価はバッテリー容量から電気料金の単価を 31 円/kwh(全国家庭電気製品公正取引協議会の目安単価より)として試算した(表6-4同様)。																		
	8 バッテリー消費量は、ほ場面積10a(縦100m×横10m)あたりのバッテリー消費率を用いて試算した(表6-4同様)。																		
	9 労賃は「令和6年農作業料金・農業労賃に関する調査結果(一社)青森県農業会議」よりオペレータ(トラクター、田植機、コンバインの平均値)の日賃金を時給換算し、青森県最低賃金(令和7年12月現在)を補助者の時給とし、オペレータ(時給1,170円)×1人+補助者(時給1,029円)×2人=3,228円/時となり、それを作業能率から1ha 当たりに換算した(表6-4同様)。																		
	10 作業請負料金は「令和6年農作業料金・農業労賃に関する調査結果(一社)青森県農業会議」の防除(個人)の県平均賃金を参照した(表6-4同様)。																		

- 説明
- ・ AgrasT25 の粒剤タンク搭載量が誤っていたため修正
 - ・ 最大作業可能面積と損益分岐点面積の項目名に ① および ② の表記がなかったため修正。
 - ・ ①—②について、Agras T25 の計算結果は、シートの数式のミスにより Agras T25 の最大作業可能面積から Agras T10 の損益分岐点面積を引いた結果となっていたため、Agras T25 の損益分岐点面積を引くように修正。
 - ・ ①—②について、表示されていない小数点第 2 位以下の数値を含む計算結果となっていたため、表示されているとおりの数値同士の計算結果になるよう修正
 - ・ 備考に「9 バッテリー消費量は、ほ場面積 10a（縦 100m×横 10m）あたりのバッテリー消費率を用いて試算した（表 6-4 同様）。」という文章を追加
 - ・ 備考から「10 固定費の面積比率は、大豆及び小麦それぞれでの各作業の中で最も小さい最大作業可能面積の比とした（表 6-4 同様）。」という文章を削除

・表 6-4

誤

対象機種				Agras T50			
大きさ、能力				液剤タンク 搭載量40L 粒剤タンク 搭載量50kg			
作業名				液剤散布			
				黒根腐病 防除	食葉性害虫 防除	紫斑病 子実吸汁性 カメムシ類防除	マメシクイガ 子実吸汁性 カメムシ類防除
供試資材				サンカラー	アディオン乳剤	プランダム乳剤25 +キラップフロアブル	フレパゾンフロアブル5 +スタークルメイト液剤10
散布量				1.6L/10a	0.8L/10a	0.8L/10a	0.8L/10a
最大作業可能面積	作業能率	h/ha		0.13	0.13	0.13	0.13
	作業回数	回		1	1	1	1
	作業時間	h/ha		0.13	0.13	0.13	0.13
	作業時間合計	h/ha		0.13	0.13	0.13	0.13
	作業期間(始)	月日		7月10日	7月21日	8月13日	8月25日
	作業期間(終)	月日		7月20日	8月10日	8月24日	9月5日
	作業可能日数率	%		64	62	58	58
	作業可能日数	日		7.0	13.0	7.0	7.0
	作業可能時間	h		27	50	27	27
	最大作業可能面積	ha		207.3	385.0	207.3	207.3
損益分岐点面積(単作)	固定費	本体一式	千円	4,055			
		固定比率	%	29.0			
		保障、点検料など	千円	30			
		計	千円	1,206			
	変動費	バッテリー充電単価	円/kwh	31.0	31.0	31.0	31.0
		バッテリー使用量	kwh/ha	0.8	0.8	0.8	0.8
		バッテリー使用費	円/ha	26	25	25	25
		労賃	円/h	3,228	3,228	3,228	3,228
		小計	円/ha	810	808	808	808
		合計	円/ha	3,235			
	作業請負料金	各作業別	円/ha	17,240	17,240	17,240	17,240
		合計	円/ha	68,960			
	損益分岐点面積(単作)		ha	17.5			
	①-②		ha	197.3	375.0	235.0	235.0

正 (表 6-4)

対象機種			Agras T50				
大きさ、能力			液剤タンク 搭載量40L 粒剤タンク 搭載量50kg				
作業名			液剤散布				
			黒根腐病 防除	食葉性害虫 防除	紫斑病 子実吸汁性 カメムシ類防除	マメシクイガ 子実吸汁性 カメムシ類防除	
供試資材			サンカラー	アディオン乳剤	プランダム乳剤25 +キラップフロアブル	プレハゾンフロアブル5 +スタークルメイト液剤10	
散布量			1.6L/10a	0.8L/10a	0.8L/10a	0.8L/10a	
最大作業可能面積	作業能率	h/ha	0.13	0.13	0.13	0.13	
	作業回数	回	1	1	1	1	
	作業時間	h/ha	0.13	0.13	0.13	0.13	
	作業時間合計	h/ha	0.13	0.13	0.13	0.13	
	作業期間(始)	月日	7月10日	7月21日	8月13日	8月25日	
	作業期間(終)	月日	7月20日	8月10日	8月24日	9月5日	
	作業可能日数率	%	64	62	58	58	
	作業可能日数	日	7.0	13.0	7.0	7.0	
	作業可能時間	h	27	50	27	27	
	最大作業可能面積(①)		ha	207.3	385.0	207.3	207.3
損益分岐点面積(単作)	固定費	本体一式	千円	4,055			
		固定比率	%	29.0			
		保障、点検料など	千円	30			
		計	千円	1,206			
	変動費	バッテリー充電単価	円/kwh	31.0	31.0	31.0	31.0
		バッテリー使用量	kwh/ha	0.8	0.8	0.8	0.8
		バッテリー使用費	円/ha	26	25	25	25
		労賃	円/h	3,228	3,228	3,228	3,228
		小計	円/ha	810	808	808	808
		合計	円/ha	3,235			
	作業請負料金	各作業別	円/ha	17,240	17,240	17,240	17,240
		合計	円/ha	68,960			
	損益分岐点面積(②)		ha	17.5			
①-②		ha	189.8	367.5	189.8	189.8	

説明

- ・最大作業可能面積と損益分岐点面積の項目名に (①) および (②) の表記がなかったため修正。
- ・①—②について、Agras T25 の計算結果をそのまま貼り付けていたため、修正。
- ・①—②について、表示されていない小数点第2位以下の数値を含む計算結果となっていたため、表示されているとおりの数値同士の計算結果になるよう修正